

ENOKI

えのき



中学生のおもちつき 昔あそび・もちもちの会

3月16日(日)、牛込第二中学校の実行委員の生徒たちが、この春卒業する三年生にお祝いの気持ちをこめてお餅をつき、地域の方たちにも参加を呼びかけ、お餅つきや昔あそびを通して地域の方たちの交流が深まるよう「昔あそび・もちもちの会」を開催しました。

今回初めてお餅つきを経験する中学生は、始めはきねの下ろし方が上手くいかず、きねを白に打ち付けたりにしてしまいましたが、二回、三回とつくうちに、きねの扱いにも慣れ、瞬く間に、蒸したもち米が香り立つ美味しそうなお餅になりました。

つき立てのお餅を丸めて黄粉や餡子から始め、参加した方たちに配り、お雑煮にして皆で美味しくいただきました。

日本の伝統的なあそび、「コマやメンコ、羽根つきの昔あそびではお父さんたちが活躍。大人も子どもも一緒になって楽しく遊びました。

凧作りにも挑戦しました。子どもたちは広い校庭を駆けまわり、自分で作ったオリジナルの凧が青空高く舞い上がるのを見て嬉しそうでした。

早稲田地区青少年育成会は、地域交流を目的に、地区の中学生が自分たちで催事を企画、実行するお手伝いをしています。夏休み期間中の8月には牛込第二中学校にて「牛込二中えんにち」を予定しています。中学生の実行委員がえんにちを模して、ゲーム遊びやかき氷の模擬店などを催します。皆さん、来てくださいね。

主催 早稲田地区青少年育成委員会
協力 牛込第二中学校

榎町子ども家庭支援センター

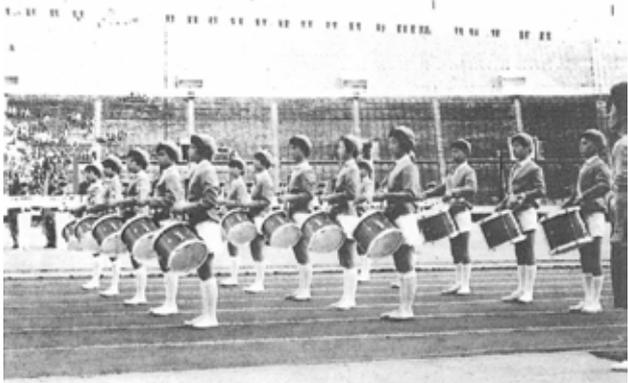
昭和39年東京オリンピックの思い出 牛込仲之小鼓隊が五輪旗を先導

二〇二〇年の東京オリンピックが開催が決定いたしました。実は、昭和15年にも東京オリンピック開催が予定されていたのですが、日中戦争などの影響により、政府が開催権を返上したので、東京開催は昭和39年に続いて、二度目となります。

写真入りで紹介された牛込仲之小学校に関する当時の新聞記事をご紹介します

「体育の日」の由来となった、10月10日、国立競技場で開会式は行われました。大五輪旗が掲げられた次の一瞬、小太鼓の音が国立競技場に響き渡りました。新宿区立牛込仲之小学六年生で編成された、鼓隊が、引き継がれる五輪旗を先導して一糸乱れぬリズムで行進してきました。

もとはと言えば、牛込仲之小学校の長年にわたって続けてきた地道な音感教育の積み重ねがオリンピックの



開会式と言う晴れの舞台を得て、実を結んだだけという。しかしこの小学校では、生活の中にリズムを持ち込む事を主眼に音感教育が進められている。五・六年生による全児童による鼓笛行進は秋の運動会の呼び物になっている。オリンピックのための編成も、「太鼓だけにしたい」と言う大会組織委員会からの要望に従って、日ごろから小太鼓に親しんでいる六年生の有志を集めたままで、まさに当時のオリンピックにふさわしい、「アマチュアリズム」に貫かれた鼓隊だった。

牛込仲之小に対して、オリンピック東京大会組織委員会会長名で、「感謝状」が、当時の新宿区長から表彰状が贈られました。

● 鼓隊の思い出 天神町在住 加賀美伸子

仲之小の六年生だった私は、鼓隊のメンバーに選ばれて嬉しかったのですが、練習は厳しく、休日もなく、それほど名誉なこととは思っていませんでした。

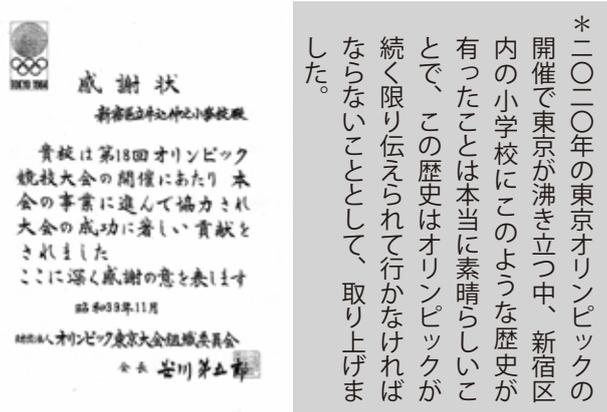
ただ、東京オリンピック開会式当日の抜けるような青空と、行進し終わってからの退場口で迎えてくれた先生

の満面の笑顔は、今でもはつきり覚えています。それから四年ごとに巡ってくる世界のあちこちで開かれるオリンピックには人一倍興味がありますし、成長すればする程、自分は貴重な体験をさせてもらったんだと誇らしく思います。

再びオリンピックを東京で、という気運が盛り上がる中、昨春秋、先生の消息が分かり、約五十年ぶりで当時のメンバー達20人と先生を囲む事ができました。一緒に貴重な時間を共有することが出来た先生と仲間達との語らひは尽きることがなく、つらかった練習の日や、当日の様子などと思い出話に花が咲きました。

「あなた達は、本当に素晴らしい子供だった」と言われ、元子供達は照れ臭かったですが、祈るような気持ちで入場門で送り出し、笑顔で迎えてくれたあの開会式当日の子どもたちの姿が、先生にとっては今でも心の中に鮮やかに残っているんだと感動しました。

今でも、全員がああ太鼓のリズムを正確に刻めることは私たちの心の中の宝物です。今年米寿を迎えられた先生と、又、思い出話をするつもりです。



新宿シティーハーフマラソン 榎地区からも参加 ボランティアとして協力

1月26日行われた「新宿シティーハーフマラソン」は、ハーフマラソンの部、10kmの部、健康マラソンとして3km、2kmの部と、幼児が走る「ひよこの部」がありました。ハーフマラソンの部は約3倍の抽選で、一万五千人以上が申し込み、四千四百人以上が走りました。参加者全体では、一万一千人以上の参加者があり、新宿区民は四千人以上が走りました。

シティーマラソンの成功の陰には、新宿区民のボランティア協力が欠かせません。全体では千四百人近くの方が協力しました。榎地区からも、スポーツ推進委員や地域のサッカークラブであるFC早稲田からもコーチがボランティアとして協力しました。

ボランティアとして協力したFC早稲田コーチ談「四谷三丁目付近で交通整理を担当しました。通行人からクレームもありましたが、結構楽しかったです。」

国立競技場の出発ゲート



私ひよこ組パパと一緒



ママと小2のお兄ちゃん



ボランティアがあつてこそ



● 弁天町の長谷川さん一家4人も参加

榎地区からも、弁天町に住む長谷川さん一家が「父と2歳の娘がひよこ組の部」母と小3の長男が「2kmの部」に参加しましたので、長谷川さんの感想をご紹介します。

● 長谷川さんの感想

「国立競技場が建て直しの事で思い出作りも兼ねて、家族皆でエントリーしました。久々にマラソンをするので、事前に息子とランニングの練習をしたり、大会前も含めて楽しく参加する事が出来ました。娘も同じ年頃の子とも達と競技場内のトラックを、笑顔で走りとても良い経験になったと思います。子ども達が大人になった時に国立競技場を見て、家族皆で大会に出た事を思い出してくれたら嬉しいです。」

他に榎地区から早稲田小の3年生や、喜久井町の土屋税理士など多くの方が出場しています。

高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況

● 平成25年度「将棋大会」の成績

平成25年7月7日(日)北新宿第二ことぶき館において開催された第50回将棋大会において、次の榎地区の方が上位に入賞されました。おめでとうございます。(敬称略)

Aクラス 優勝 副島 健 七段(薬王寺第二長寿会)

第三位 外山 定雄 五段(弁天町和老クラブ)

● 平成25年度「囲碁大会」の成績

平成25年7月28日(日)北新宿第二ことぶき館において開催された第50回囲碁大会において、次の榎地区の方が上位に入賞されました。おめでとうございます。(敬称略)

Aクラス 第二位 鈴木 理 五段(柳町すみれ会)

(資料提供 新宿区高齢者クラブ連合会)

楽しさが集まる地域の輪 新宿区高齢者クラブに加入しましょう

高齢者クラブは主に会員からの会費と新宿区の高齢者クラブ助成金で運営され、町会等のご協力を得て活動しています。

各クラブでは、概ね次のような活動をしています。

- 1、社会奉仕活動(公園、道路の清掃活動など)。
- 2、友愛活動(一人暮らしの方の訪問等の会員同士の和の協力)。
- 3、健康を進めるための活動(輪投げ、グラウンドゴルフの練習と大会への参加、歩行会への参加など)。
- 4、生き甲斐を高める活動(カラオケ、コーラス、フォークダンス、囲碁、将棋などの練習と大会参加及び研修旅行への参加など)。
- 5、会員同士の親睦(お誕生会、会員の慶弔など)。

*区内にお住まいのおおむね60歳以上の方が会員になれます。

お住まいの町会又は町会内にある高齢者クラブにお尋ねください。各クラブでは、新入会員の受け入れを随時行っています。

(資料提供 新宿区高齢者クラブ連合会)



第21回 学校対抗ドッジボール大会

2月16日(日)、鶴巻小学校の体育館と校庭を会場に第21回「小学校対抗ドッジボール大会」を開催しました。

地区内の4小学校から107名の選手が出場。低学年は6チーム、高学年は4チームの編成で総当たり戦の試合を行いました。選手たちは果敢に試合に挑み、数多くの熱戦が繰り広げられました。

前々日の大雪で鶴巻小学校の校庭は20センチメートル以上の積雪がありました。参加した子どもたちは雪かきを体験したり、雪遊びを楽しんだりしてとても喜んでいました。

今回の「ドッジボール大会」も大勢参加してください。



* 試合結果は左記のとおりです。

低学年の部

優勝 早稲田小学校Bチーム

第二位 江戸川小学校チーム

第三位 鶴巻小学校Aチーム

高学年の部

優勝 牛込仲之小学校チーム

第二位 早稲田・鶴巻小学校チーム

第三位 江戸川小学校Aチーム

主催：早稲田地区青少年育成委員会
榎町特別出張所



ALBUM

平成26年2月15日、大雪の早大通り・岡崎病院前の写真です。
この写真からは想像出来ないぐらい、甚大なる戦争の被害を受けた場所です。
永遠に子どもたちが元気に、笑顔でいられる地にと、思いをはせました。



(写真は平成26年2月15日、大雪の早大通り・岡崎医院前)

● 地域センターからのお願い

駐輪スペースに限りがあるため、なるべく徒歩でお越し下さい。自転車でお越しの場合は、整列駐輪にご協力下さい。

都電 荒川線散歩

昭和三十年代までは東京都内を網の目のように張り巡らされていた都電もその後の交通手段は自動車主力となり、路面電車は急速に撤去されてゆき、現代に残ったのが荒川線です。荒川線は都内を走る路面電車にもかかわらず、その殆どが独自の軌道上を走っていて他の交通と関係なく運行が出来たからでしょう。

都電荒川線は新宿区西早稲田一丁目から荒川区南千住一丁目の間を結んでいて、全部で三十の停留場があり、それぞれに故事来歴があり、総てを取り上げる紙面もありませんので主なところを幾つかをご紹介します。

早稲田 早稲田大学のお蔭で、早稲田大学キャンパス、キャンパス内にある早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、大隈講堂、大隈庭園、大隈家御用の「おそば

秋の紅葉が美しい大隈庭園 千登世橋



三朝庵(馬場下町62)、金城庵本店(西早稲田1)、洋食喫茶の高田牧舎などは有名です。近くの散歩には新江戸川公園、関口芭蕉庵、夏目漱石誕生の地(喜久井町1)、穴八幡神社があります。

面影橋 東京染め小紋と江戸更紗を紹介している東京染め物語り博物館(西早稲田3-6)。春のつつじ、秋の紅葉が美しい甘泉園公園、地続きの水稻荷神社には高田馬場の仇討ちで有名な堀部安兵衛の碑が建っています。

学習院下 ここから見える目白通りが明治通を渡る千登世橋は「東京都の著名橋」になっています。

鬼子母神前 雑司ヶ谷鬼子母神の最寄り駅で安産、子育ての神様です。櫛並木の参道を通り境内には樹齢七百年といわれる大銀杏が聳え、音羽家のススキのミニズクは有名です。

東池袋四丁目 池袋駅、サンシャイン60が近い。
庚申塚 げぬき地蔵として霊験あらたかな高岩寺の門前として栄え、年寄りの原宿と言われる巣鴨地藏通商店街は四

鬼子母神手作り市 女神なので頭に角がない



高岩寺の門と巣鴨地藏通商店街



飛鳥山の桜

四方が滑れる飛鳥山の滑り台

の日は縁日で歩くのも困難なほど賑あう。
更新新塚 ソメイヨシノの故郷といわれる染井霊園の花時は美しい。

飛鳥山 現在の飛鳥山公園は、享保五年八代將軍吉宗がここに桜を植えて江戸町民の花見の場所にしたのが始まりです。飛鳥山公園は上野から続く丘陵で、王子駅から山の上へと飛鳥山モノレールが運行され、足の弱い方には良いのですが、花見時には待ち時間が長く歩く方が早いです。丸い形の車両はエスカルゴ(蝸牛)をもじったかアスカルゴといえます。

飛鳥山から王子周辺には飛鳥山公園の他にも名主の滝公園、王子稲荷、王子神社音無親水公園、音無緑地など散策場所には事欠きません。

荒川車庫前 荒川線の車両の点検修理などもやっています。電車を平行移動するトラバサーがあります。

荒川遊園地前 大正十一年開園で都内唯一の区立遊園地。観覧車、メリーゴーランド、コーヒーカープ、などの乗り物の他多数の遊具も揃っています。鯉、金魚、ヘラ鮒の釣り堀も人気があります。料金は



あらかわ遊園入口

いろいろな乗り物でぎっしり

一時間子供百円、大人三百五十円です。お子様連れで楽しく一日遊べます。
荒川二丁目 三河島水処理センターと荒川自然公園は隣接していて、四季折々の花や木が人々の目を楽しませてくれます。白鳥の池の周辺には昆虫園、オオムラサキ観察園、野草園、水辺広場アスレチックコーナーなどがあがり飽きません。

三ノ輪橋 縦横に商店街が有ります。ジョイフル三の輪は三ノ輪橋と荒川一中前までのひと駅分の昔懐かしい商店街が続きます。東京メトロ日比谷線三ノ輪橋駅が近い。

白鳥の池 池を巡る回遊庭園 ジョイフル三の輪



地域協働学校として

江戸川小学校

運営協議会発足

江戸川小学校は、平成二十五年四月、地域協働学校準備校として、次年度の指定に向けた取り組みを始めました。

運営協議会は、学校評議員の方々を中心に、地域と学校に関係の深い九名の皆様に依頼し組織しました。

第一回運営協議会では、教育委員会教育支援課から地域協働学校についての説明を改めていただきました。その後、代表・副代表を決め、「運営委員会だより」を毎回発行することになりました。

また、学校の教育活動を支援する方向で進めることを確認しました。

第二回運営協議会では、江戸川小学校の特色ある教育活動一覧を基に、どの活動について支援が必要か、また支援ができるのかについて、具体的に話し合いました。

初めに立ち上げのは、「環境支援部」です。既存の花と緑のボランティアの活動を支援することにしました。次に「運動支援」が活動を始め、早朝運動の支援について検討を始めました。

● 四つの支援部による活動

この一年間に十一回の運営協議会を経て、四つの支援部を立ち上げ、活動しています。

【環境支援部】

花と緑のボランティアによる、季節の草花の植え付けや長期休業中の水やりなど草花のお世話

【運動支援部】

運動支援ボランティアによる、江戸川ギネス早朝運動の見守りとカウントなど

【図書支援部】

本の森ボランティアによる、学校図書館の装飾児童の図書掲示委員会と連携した読み聞かせ

【学習支援部】

学習支援部による、地域のお店や企業・歯科への弟子入り体験(職業体験学習)サポート
これらの活動を通して、学校の教育活動を充実させるとともに、地域に感謝し地域に貢献できる子供たちを育てたいと思います。

江戸川小学校

● 地域協働学校として
26年4月1日からスタート

牛込二中のグラウンド

創立66年を迎えた牛込二中の運動場は緑に囲まれ夏の日差しの強さを緩和してくれます。運動会の時にも見学者の方達を優しく包み込んでくれています。



牛込二中のPTA室

PTAの皆さんがこのPTA室で集い、子どもたちのため、学校のため、日々取り組んでいます。そして、もしかしたら我が子たちが同じようにこのPTA室で活動するかもしれないと思うと少しにやけてしまうのは私だけではないはずです。



【環境支援部】

草花の水やり



【運動支援部】

早朝運動見守り



【図書支援部】

集会での読み聞かせ



【学習支援部】

弟子入り体験

地域協働学校とは

学校運営について協働し学校を支援する組織として、その地域の住民・保護者・教職員等の委員で構成する「地域協働学校運営協議会」を設置した学校です。

学校の運営に地域住民・保護者等が参画することで、地域に信頼され、地域に支えられる開かれた学校づくりを進めていきます。

榎町子ども家庭支援センター
自主事業委員会

えのき
くうつとの集い

日時	6月7日(土) 午後1時～3時
場所	榎町子ども家庭支援センター 2階 中高生スペース

*紙・布・木工などの素材で、
もの作りを楽しみましょう。

榎町地区	子ども虐待防止
住民会議	

子どもへの虐待をなくすため、地域住民として町会・自治体や各種団体と連携を深め、どのようにして温かい心で見守り活動ができるか考える会議です。

どんな事情があっても、命は社会全体がまもらなければなりません。地域住民の皆様のご意見を様々伺いたく参加をおまわししています。

日時	7月5日(土) 午後2時～4時
会場	榎町地域センター 4階 多目的ホール
テーマ	「幼い命・地域でどう守るのか」
問合せ	榎町子ども家庭支援センター TEL(32269) 73004
共催	榎町民生・児童委員協議会 榎町地区町会連合会

榎町地区協議会
地域ふれあい分科会

榎ふれあいデー

毎月第一日曜日

午後1時～3時

早大通りにて実施(雨天中止)

*だれでも参加できます。

みんなで遊びましょう!

●5月4日(日)

みんなで鯉のぼりを作りましょう。

●6月1日(日)

木工細工・木工アートを楽しもう。

●7月6日(日)

笹飾りを作りましょう。

●けん玉・コマ回し・めんこ・縄跳び、
その他懐かしい遊びを用意しています。

早稲田みようが

「早稲田みようが」は江戸時代に早稲田村、中里村(現在の新宿区早稲田鶴巻町、山吹町)で生産された伝統野菜で、赤みが美しく大振りです(おくて)の秋みようがです。

地区協議会環境美化分科会(リーダー:廣井伸行)では、この「早稲田みようが」の普及をテーマに取り上げました。その結果、2月に鶴巻小学校の花壇で試験栽培を開始し、成育を見守ることにしました。うまく育てば今年の秋ごろには実をつける予定です。

また、同じものを榎町地域センターの軒先にもプランターで栽培しています。お越しの際はぜひご覧ください。「早稲田みようが」の生育状況は今後の誌面でもお知らせします。

「榎町地域センター」
からのお知らせ

ワンコインのき寄席
着落語会

出演	三笑亭可女次 昔昔亭A太郎
日時	6月15日(日)
開場	午後2時30分
開演	午後3時
会場	榎町地域センター 4階 多目的ホール
入場料	500円
定員	120名

*チケットは5月1日(木)より榎町地域センター2階事務局で販売します。

納涼カラオケ大会

日時	7月27日(日) 午前10時～午後4時
会場	榎町地域センター 4階 多目的ホール
参加費	300円
募集	72名
申込み	6月22日(日) 午前10時より榎町地域センター 3階工芸美術室・調理室にて受付 *申込み書は5月15日(木)より 榎町地域センター2階事務局 にて配布します。



えのき文芸

川柳

江戸の染今に繋いだ神田川
人喰って来たなとわかる紅の口

伊藤 三十六

解釈で憲法変える安倍総理

トーストの香に目を覚まし今日も無事

管野 あきら

健康に感謝しみじみ旨い酒

大雪に耐えて川岸咲くさくら

小山 一湖

欲かけど何一つとてまとまらず

横ぐるま無理して押してなんとする

高橋 凡苦郎

記念日に子から告げられ花を買う

雛祭り孫の変化が急ぎ足

田実 孜

短歌

ゆらゆらとさくら水の面に身を伸べて

私きれいと水鏡とか

奥瀬 イチ

夢なりとお宝積んでどこえ行く

たまのたまには我が家えも来よ

高橋 凡苦郎

俳句

号砲に走者三万冴返る

飯田 もと子

夜行バス月もいっしょについて来る

奥瀬 イチ

天空に国境は無し黄砂降る

加藤 理君

花桃を見む途中下車無人駅

金澤 誠

春めくや障子掠めし鳥の影

軽部 とみ子

鯉の背の盛り上げてゆく春の水

川口 あきを

引いた手にひかれて孫と春そぞろ

北村 妙子

ものの芽のひとつひとつに空のあり

工藤 進

天神の絵馬に祈願の十五の春

久根下 和子

道問えば話のはずむ春おぼろ

倉林 知子

折り紙の宇宙飛行士雛まつり

佐藤 琴美

咲き満てる櫻に鳥の忙しき

菅原 美智子

素朴なる土雛祖母に似てやさし

中村 章子

春の花

◀ハナモモ (花桃) 庭木、切り花として栽培される落葉低木。桃の園芸品種。花弁は八重咲で、濃い紅か白、斑入りのものもある。

ハナショウブ (花菖蒲) ▶

アヤメ科の多年草。ノハナショウブを原種として、日本で改良された。花期初夏の頃。白、桃、紫など美しい。世界中に品種も多くジャーマンアイリスなどと分けて花菖蒲はjapanese irisという。



広報部からのお知らせ

「えのき」では毎号、榎町地域センターの登録団体の紹介をしています。掲載いただける団体の募集をしています。

会員の募集や活動の様子、連絡先など、300字以内の原稿を添えて、お申し込みください。

「家族の肖像」「技の伝承」の企画記事に登場いただける方の情報をお寄せください。

「えのき」の編集委員を募集しています。地域の情報に関心をお持ちの方、ぜひ広報委員となって広報誌づくりにご協力ください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載する句を募集しています。皆さんの身近にある事柄を「五・七・五」の句にしてみませんか。次号の俳句の題は『春』、川柳は自由吟です。

投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、6月10日(火)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-0042
新宿区早稲田町85
TEL (3202) 8585
fax (3202) 2478